

読書活動を広げよう！ 平成18年度 中学校 学校図書館年間計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
指導目標	進んで読書に親しもうとする気持ちを引き出す1学期 全校読書の位置づけにより、生徒一人一人が本を身近に感じることができるようになる。 魅力ある図書館、明るく楽しい図書館であるための環境を整備し、図書館を生活の中で身近に感じることができるようになる。				情報を活用することを通して自ら学び考える力を伸ばす2学期 読書活動を広げ、仲間とともに読書を楽しむことができるようになる。 学習、情報センターとしての図書館の機能を充実させ、生徒が課題に向かって主体的に取り組めるようになる。				情報をもとにして自分の生き方を見つめ、課題に向かって主体的に取り組む姿に鍛える3学期 読書の楽しみを実感し、積極的に読書をしよとする態度を育てる。 読書活動を通して社会のあり方や自分の生き方について考えようとする態度を育てる。			

全校読書	<読書に親しむ環境・姿勢づくり> 生活の中への読書の位置づけ(4月の重点) ・全校生徒全員が本を持ってきて、落ち着いて読書をする事ができる。	<積極的な読書の姿勢づくり> 読書週間の充実 読書の楽しさを知り、読書を生活に取り入れることができる。	<読書を楽しむ環境・姿勢づくり> 読書週間の充実 読書の楽しさを知り、読書を生活に取り入れることができる。
------	--	---	---

生徒会スローガン

前期活動スローガン 積極的にマナーの呼びかけや、環境づくりに力を入れる。 図書館が利用する人が楽しめる、くつろげる場所になるようにする。 図書館の利用の仕方を学級に知らせる。	後期活動スローガン 図書館や放送から発信される情報を通して全校生徒の心をつなげていく。 ライブラリーフェアなど全校での取り組みを行い、クラス、学年を超えて互いを向上させていく。
前期組織決定 開館準備 パソコン操作講習 オリエンテーション 開館・利用指導 多読者表彰 夏休み本の貸し出し	後期組織決定 仕事確認 ライブラリーフェア 計画・準備・まとめ 放送キャンペーン(放送班中心) お昼の放送の内容を工夫、放送マナーの徹底 閉館準備 活動の成果と課題
<前期の主な活動> 図書館開館にあたって ・新しく情報委員になったメンバーに情報委員としての心得を知ってもらうオリエンテーションやパソコン操作についての講習を行う。 ・開館準備に向けて、本の借り方、返し方の方法や、図書館でのマナーについてビデオで全校に呼びかける。 ・開館PRポスターを作成し、校内各所に掲示する。 ・図書館利用のてびき、を配り、図書館の利用の仕方やマナーの徹底をはかる。 ・図書館のPR ・図書館の本をより多くの人知ってもらうためのPR活動をする。 ・ライブラリーニュースを発行し、開館のお知らせ、利用の仕方、情報委員の紹介などを全校に知らせる。 ・放送で随時図書館の様子を知らせ、図書館へ来てもらうようにPRする。 ・多読者表彰 ・学校、学年の多読者を廊下に掲示し、読書への意欲を促す。	<後期の主な活動> ライブラリーフェア 月()日()日()日間 読書の楽しさを知り、読書を生活に取り入れる態度を育てる。 読書体験を交流して読書生活を豊かにする。 お薦めの本の紹介 ・新刊図書や全校読書におすすめの本を情報委員が選び、お昼の放送を通じて実物を見せたりあらすじを紹介する。また、廊下に掲示する。 新刊コーナー(全校読書おすすめコーナー・教科に役立つ本コーナー)の設置 感想交流コーナーの設置 ・読んだ本の感想を交流できるノートを活用するなどのコーナーづくりをする。 図書館利用者を通じてのPR ・期間中に図書館で本を借りた人に、自作のしおりを配り、楽しく読書に親しんでもらうようにする。 読書生活アンケートの実施 ・学級や全校の読書への親しみ具合を調べ、全校によく読まれている本などを紹介する。 ・結果をライブラリーニュースにて紹介し、読書の世界を広げるように呼びかける。

<情報班> ・情報委員のサポートをする。 ・学級での全校読書が充実するように呼びかける。 ・学級でブックトーク活動などを計画して行う。 ・学級全員で図書館に行く日や時間を設定して読書に親しむ時間を確保する。	<情報班> ・フェア中一度はETや帰りの会などに学級全員で図書館に出かけて本に親しむ機会をつくる。 ・読書生活アンケートを行い、学級の実態を知らせる。
<学年・学級態勢> ・全校読書オリエンテーションの実施をする。(4月最初の全校読書の時間・担任) ・全校読書実施状況の交流を行う。(学年会) ・開館にあたってのオリエンテーションの実施をする。(担任) ・「明日への歩み」での励ましを継続する。(担任)	<学年・学級態勢> ・ライブラリーフェアの啓発と情報班への援助をする。(担任) ・国語科担当と相談し、ブックトーク活動などを計画する。(担任) ・全校読書活動の見届けをする。(学年会・担任)

<魅力ある図書館づくり> 季節感が感じられる心温まる図書館環境づくり ・季節感が感じられる掲示物、扉などを中心に図書館全体を魅力あふれる空間にする。生徒に安らぎを与え、読書の環境を整えることで、生徒にとって魅力ある図書館となるようにする。 ・廊下掲示などにも季節を感じさせる風物を至る所に取り入れる。 今を見つめるタイムリーな話題の提供 ・生徒が興味・関心を持ちそうな話題、新聞記事、特集などを掲示することで社会に目を向けさせる。 ・新着図書や、仲間の作文、読書感想文を掲示し、生徒の興味・関心をもたせる。 生徒の視野を広げる情報の提供 ・各月の暦の中で、日々まつわる出来事、歴史上の人物、有名な著者などを取り上げ、それについて特集を組み、関連する本を紹介する。 ・多読者を表彰し、それを廊下掲示などで紹介する。	<学習・情報センターとしての図書館づくり> 総合学習コーナーの充実 ・昨年度に引き続き総合学習コーナーを充実させる。昨年度不足していた図書を購入し、生徒のニーズに応えられるようにする。 教科に役立つ本コーナーの設置 ・各教科から出た関連図書を購入し、学習の手助けとする。 全校読書おすすめコーナーの充実 ・情報委員会での活動を受け、情報委員の薦める本、人気のある本、読みたいという本など生徒のニーズに合わせた全校読書のコーナーを設置する。 ・情報委員会での読書生活アンケートで希望が多かった本などは早急に購入し、図書の充実を図る。 調べたいことを正確に早く ・生徒の調べたい事柄にすぐに対応するために、常時、図書館司書がスクールサポーターが図書館のカウンターにいるように心がける。図書の検索はコンピューターで、総合学習については、学年のテーマやその項目ごとにファイルで検索できるように準備し、生徒のニーズにすぐ応えられるような対応をする。	<ニーズに応えられる図書館づくり> 総合学習コーナーの充実 教科に役立つ本コーナーの充実 ・1年間の総合学習における図書館利用を振り返り、図書の不足、調べのに不都合がなかったかどうか、検討をする。 ・来年度にむけ、不足図書の購入や新規図書の購入アンケートをし、充実した学習活動ができるようコーナーの整備をする。 全校読書おすすめコーナーの充実 ・人の生き方、進路に関わる本を重点コーナーとして位置づけ、自分の生き方や、日々の生活、友人関係などに視点を向けさせる。 「情報のまとめ方」についての援助 ・学習活動のまとめの時期になるため、「数々の情報のまとめ方」に重点を絞り、それに関連する図書を充実させたコーナーづくりをする。
---	--	--

全校読書の充実に向けて ・全職員への全校読書オリエンテーションの実施(職員会) ・生徒への全校読書オリエンテーションの実施(短学活) ・全校読書にふさわしい本の選定と業者への発注 ・全校読書実施状況の確認(各担任・職員会での交流) 総合学習コーナーの充実・教科に役立つ本のコーナーの設置に向けて ・各学年の総合学習テーマを確認(総合学習指導部との連携) ・図書館にある本の中で活用できそうな本を選び、準備(総合学習指導部との連携) ・教科で役立つ本・教科書の関連図書調査 ・図書の選定(全職員にアンケート調査)と業者への発注 <希望図書購入 第1回> 5月 図書館司書の先生と最終調整をしたのちに発注	全校読書の充実に向けて ・全員読書への呼びかけ(各担任・職員会での確認) ・生徒の読んでいる本や姿の交流(学習指導部・職員会) 情報活用センターとしての図書館整備 ・総合学習コーナーの充実・教科に役立つ本コーナー設置 ・新着図書の登録・コーナーのためのシール貼り(図書館司書・スクールサポーター) 読書意欲の増進に向けて ・情報委員会ライブラリーフェアへの参加の呼びかけ(職員・情報委員) ・仲間とともに楽しむ読書への活動計画・実施(学級組織情報班) ・ブックトークの実施(国語科)や選択科目など教科での取り組み	全校読書1年間の成果と課題を明らかに ・1年間の歩みをふりかえる(学習指導部) ・来年度購入してほしい全校読書の選定(生徒・職員) 総合学習コーナー・全校読書おすすめコーナー・教科に役立つ本コーナーの見直し ・図書館内の配置や蔵書の見直しと不足図書の発注・購入(総合学習指導部・図書館司書・担当職員) <希望図書購入 第3回>	今年度の図書館経営の見直し ・全校読書の生徒の姿 ・重点コーナー ・蔵書点検 ・利用者数の推移と読書傾向の調査 ・情報委員会の活動と連携
---	---	--	---

職員同士、職員と生徒との協同(役割を分担しながら仕事を)活動
 図書館司書、スクールサポーター、担当職員、情報委員が互いに分担しながら図書館の運営を行う。めざす姿を見通し、活動可能時間の配分も考えながら、生徒が主体的に活動できる部分と、職員が行う管理運営、指導の部分とを連携させながら、取り組みを進めていくようにする。